

MIHARA RACING TEAM

KYOJO-FORMULA RD.5

報告書



MIHARA RACING TEAM 出場選手

#32 ミハラ自動車エムクラフトRT KC-MG01

Driver:金本 きれい



レースのご報告 **KYOJO-FORMULA**

開催日：2025年11月08日/09日

開催場所: 富士スピードウェイ

**2025年11月08日（土）～09日（日）、富士スピードウェイにて「KYOJO CUP Rd.5」が開催。
今大会は新星KYOJO - FORMULAとしての最終戦。各チームとも集大成として意気込み高く挑んだ。
ミハラレーシングチームとしても万全のサポート体制で金本選手の活躍を祈った。**

【予選結果】

ベストタイム：1分45秒203

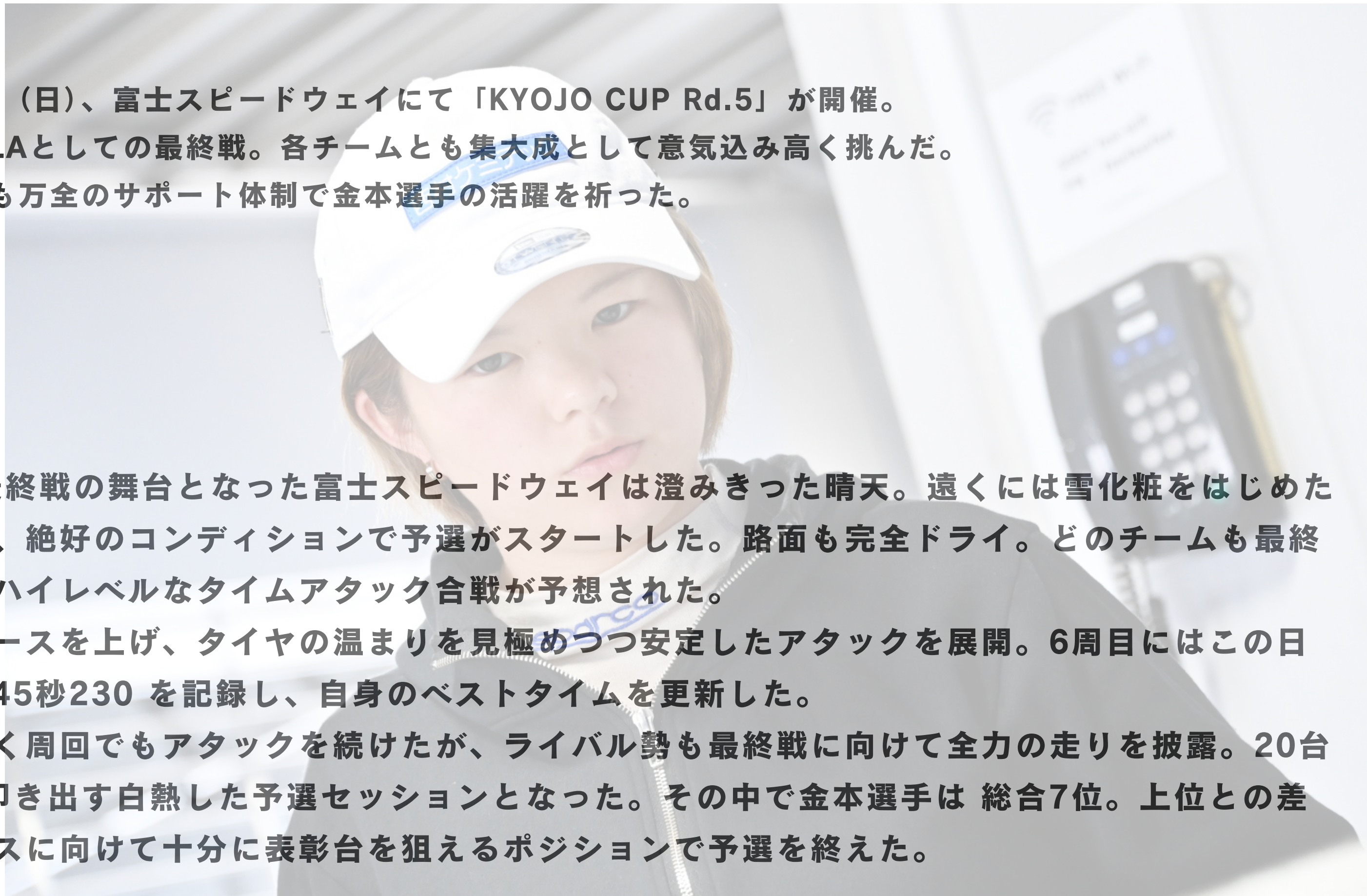
順位：7位/20台

公式予選

前回RD.4の荒天とは一転、最終戦の舞台となった富士スピードウェイは澄みきった晴天。遠くには雪化粧をはじめた富士山がくっきりと姿を見せ、絶好のコンディションで予選がスタートした。路面も完全ドライ。どのチームも最終戦に懸ける意気込みは強く、ハイレベルなタイムアタック合戦が予想された。

金本選手は序盤から順調にペースを上げ、タイヤの温まりを見極めつつ安定したアタックを展開。6周目にはこの日最も伸びたラップとなる 1分45秒230 を記録し、自身のベストタイムを更新した。

さらにタイム短縮を狙って続く周回でもアタックを続けたが、ライバル勢も最終戦に向けて全力の走りを披露。20台中9台が自己ベストタイムを叩き出す白熱した予選セッションとなった。その中で金本選手は 総合7位。上位との差はわずかで、スプリントレースに向けて十分に表彰台を狙えるポジションで予選を終えた。



【スプリントレース結果】

ベストタイム：DNF

順位：-位/20台

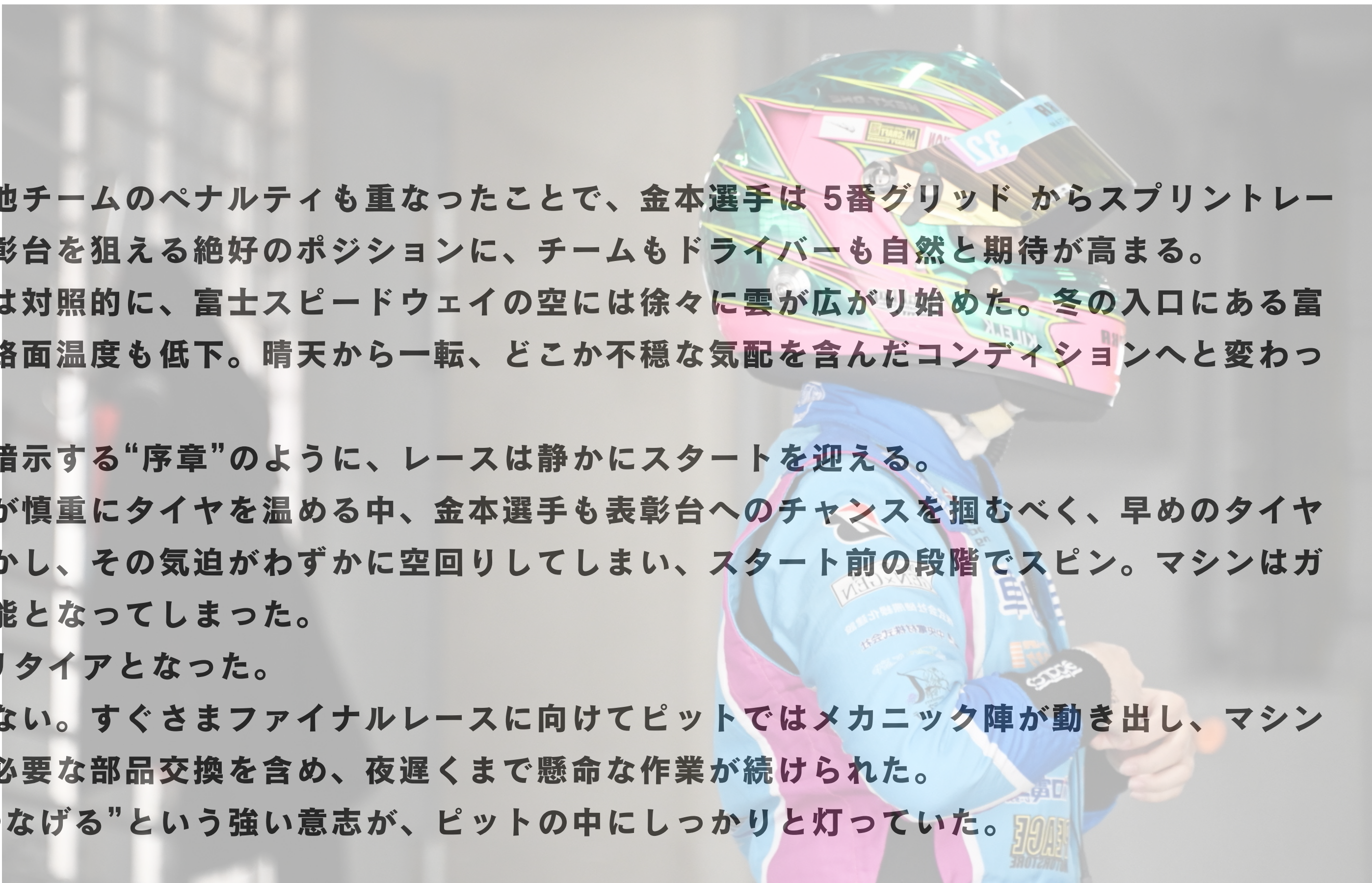
スプリントレース

予選を好結果で終え、さらに他チームのペナルティも重なったことで、金本選手は 5番グリッド からスプリントレースを迎えることとなった。表彰台を狙える絶好のポジションに、チームもドライバーも自然と期待が高まる。しかし、その明るい雰囲気とは対照的に、富士スピードウェイの空には徐々に雲が広がり始めた。冬の入口にある富士の麓らしく気温が下がり、路面温度も低下。晴天から一転、どこか不穏な気配を含んだコンディションへと変わっていった。

まるでこの後に訪れる結末を暗示する“序章”のように、レースは静かにスタートを迎える。オープニングラップでは各車が慎重にタイヤを温める中、金本選手も表彰台へのチャンスを掴むべく、早めのタイヤウォームアップを試みた。しかし、その気迫がわずかに空回りしてしまい、スタート前の段階でスピン。マシンはガードレールに接触し、走行不能となってしまった。

結果は DNF。悔しさの残るリタイアとなった。

しかし、下を向いている暇はない。すぐさまファイナルレースに向けてピットではメカニック陣が動き出し、マシンチェックと修復作業が開始。必要な部品交換を含め、夜遅くまで懸命な作業が続けられた。チーム全員の“絶対に明日につなげる”という強い意志が、ピットの中にしっかりと灯っていた。



【ファイナルレース結果】

ベストタイム：1分45秒454

順位：11位/20台

ファイナルレース

翌日に迎えたファイナルレース。前日のアクシデントにより厳しい状況ではあったが、メカニックが夜遅くまで懸命の作業を続けたことで、金本選手は無事に決勝へと戻ってくることができた。

スプリントレースでDNFとなったものの、他のアクシデントによって完走できなかったマシンは計8台。

その結果、金本選手は 15番グリッド から最終戦のラストバトルへ挑むことに。

最終戦の最終レース。天候は残念ながら雨へと変わったが、チーム全員が前を向き、気持ちをひとつにしてスタートを迎えた。レースはセーフティカー（SC）先導でスタート。規定周回を終え、SCのライトが消灯すると、いよいよ2025シーズン最後の戦いが幕を開けた。

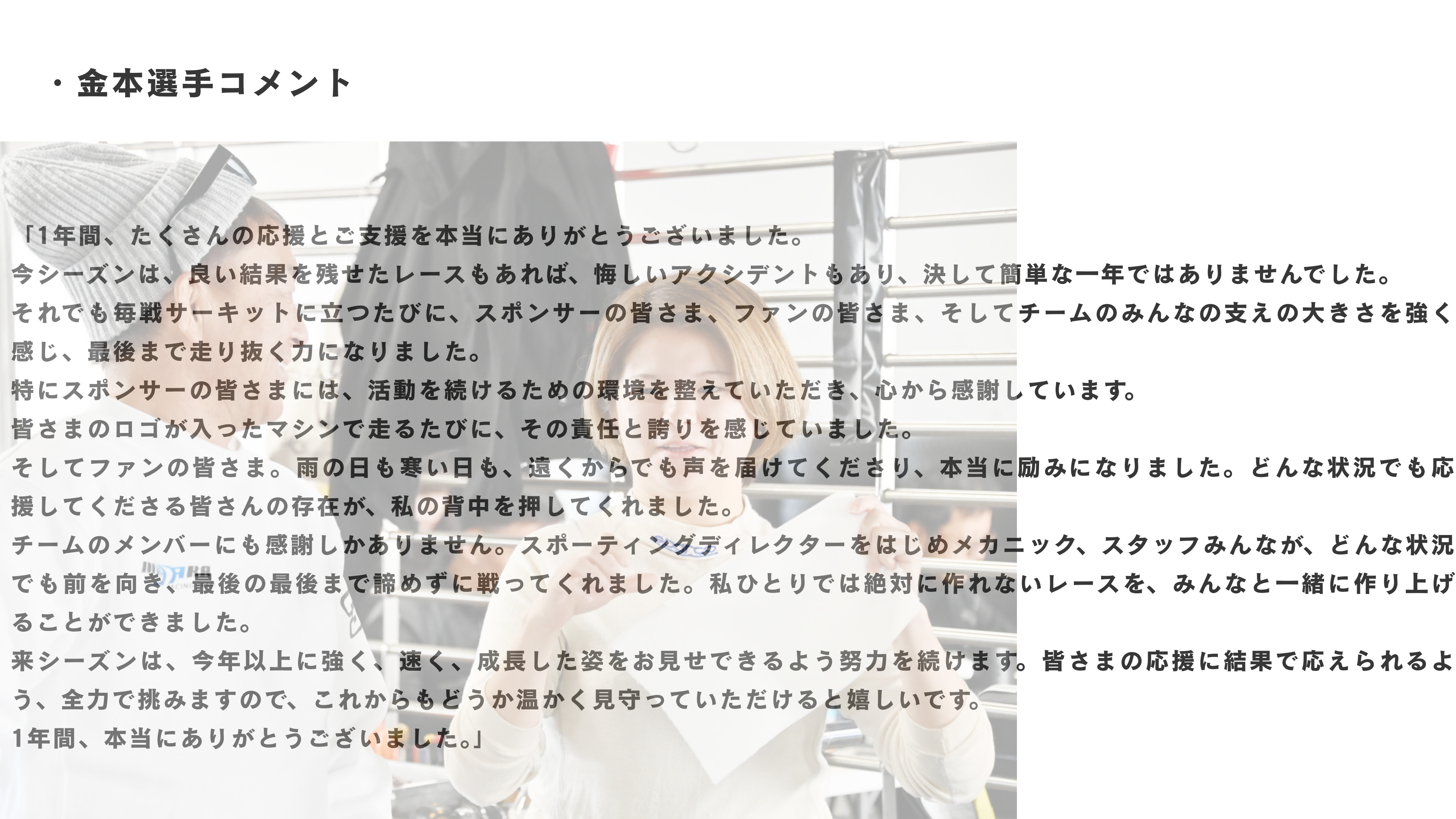
後方からのスタートとなった金本選手は、序盤から激しい水しぶきに視界を奪われる難しい展開が続く。実力者が後方に並ぶ最終戦特有の状況も重なり、序盤はポジションを落とす場面もあった。

しかし、レースが後半へ向かうにつれて金本選手は確実にペースを取り戻していく。冷静に状況を見極めながら、着実にライバルをオーバーテイク。

終盤には前方車両がスピンする場面もあったが、落ち着いた判断でこれを回避し、最後まで諦めない走りを貫いた。そしてチェッカー。最終戦ファイナルレースを 11位 でフィニッシュ。

前日の大きなアクシデントを乗り越え、難コンディションの中で最後まで戦い抜いた金本選手とチームの粘り強さが光る締めくくりとなった。

・金本選手コメント



「1年間、たくさんの応援とご支援を本当にありがとうございました。
今シーズンは、良い結果を残せたレースもあれば、悔しいアクシデントもあり、決して簡単な一年ではありませんでした。
それでも毎戦サーキットに立つたびに、スポンサーの皆さま、ファンの皆さま、そしてチームのみんなの支えの大きさを強く
感じ、最後まで走り抜く力になりました。
特にスポンサーの皆さまには、活動続けるための環境を整えていただき、心から感謝しています。
皆さまのロゴが入ったマシンで走るたびに、その責任と誇りを感じていました。
そしてファンの皆さま。雨の日も寒い日も、遠くからでも声を届けてくださり、本当に励みになりました。どんな状況でも応
援してくださる皆さんの存在が、私の背中を押してくれました。
チームのメンバーにも感謝しかありません。スポーティングディレクターをはじめメカニック、スタッフみんなが、どんな状況
でも前を向き、最後の最後まで諦めずに戦ってくれました。私ひとりでは絶対に作れないレースを、みんなと一緒に作り上げ
ることができました。
来シーズンは、今年以上に強く、速く、成長した姿をお見せできるよう努力を続けます。皆さまの応援に結果で応えられるよ
う、全力で挑みますので、これからもどうか温かく見守っていただけると嬉しいです。
1年間、本当にありがとうございました。」

お問合せ先

会社名	株式会社ミハラレーシング
所在地	〒807-0813 北九州市八幡西区夕原町3-3
電話番号	093-621-5135
メールアドレス	t-oono@miharakk.co.jp
担当者	株式会社ミハラレーシング 事務局 大野達弘